

令和2年5月8日

ハンドボール部員の皆さんへ

東京都高体連ハンドボール専門部長

北江 繁治

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）中止を受けて

ハンドボール部員のみなさん、こんにちは。この4月より東京都高体連ハンドボール専門部長に就任しました北江繁治です。

今年の3月より新型コロナウイルス感染拡大を受け、日々の生活や学校生活、そして部活動にまでも影響が及び、ハンドボールができない状況が続いていることと思います。

関東大会中止の決定から関東大会予選を中止決定したことに続き、先日、全国高等学校体育連盟から「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を中止する。」との連絡がありました。このインターハイは、1963（昭和38）年に第1回大会が新潟県で開催され、過去の大会中止は一度もありませんでした。今年のインターハイは、北関東4県を中心に、ハンドボールは岩手県で開催される予定でした。しかし、新型コロナウイルス終息の目途が立たず、インターハイを中止するとの結論になってしまいました。この中止を決定した全国高体連の役員の方々も、断腸の思いで苦渋の決断だったと思います。

高校生にとって、2020年のインターハイの舞台は2020年しかありません。この夢の舞台が無くなってしまい、とても残念です。先に関東大会予選の中止も触れたとおり、今年度の東京都の大会はひとつも実施できていません。3年生にとっては高校生として最後の大会、2年生にとっては先輩後輩とプレーできる大会、1年生にとっては高校生になって最初の大会が実施できていない状態ですが、近い将来良い方向に向かい、心行くまでハンドボールができる日が戻ってくると信じています。3年生にはこれで部活動を引退する生徒もいることと思いますが、皆さんがハンドボールをとおして積み重ねてきたものは生涯の宝となり、未来に使えることがたくさん詰まっているはずです。3年生の皆さん、ハンドボールというスポーツをずっと愛してください。そして、東京都の高校生の大会が実施できる時が来ましたら、後輩の応援にぜひ来てください。2年生と1年生は次に実施できる大会で、思い切り楽しんでプレーして欲しいです。

私たちも皆さんと同じように、ハンドボールが大好きです。私たちは、高校生の皆さんが一生懸命練習したり、試合でプレーしたりする姿を見る度に感動しています。今後も、皆さんのことを応援していきます。

今回は本当に残念な結果となりましたが、この困難な状況を、皆さん、力を合わせて乗り越えていきましょう。一日も早く普段の生活、学校生活そして部活動が再開できることを願っています。